

先生各位

胃がんリスク層別化検査に関するご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび認定 NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構より、ヘリコバクター・ピロリ抗体の検査方法について、現在使用している EIA 法とは別のラテックス法を推奨する発表がございました。同機構より推奨された新しい胃がんリスク層別化検査を受託致しますのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

● 新規検査項目

《受託開始日》 令和2年4月1日（水）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	胃がんリスク層別化検査（ABC分類）
検査コード	7480
JLAC10	3B347-0000-023-920-51
診療行為コード	設定なし
検体量	血清 0.6mL
保存・容器	冷蔵・A1
実施料（判断料）	収載なし
所要日数	1～3日
検査方法	ラテックス凝集比濁法
基準値 （判定基準）	ヘリコバクター・ピロリ抗体： <u>10 U/mL未滿</u> ペプシノゲン（陰性）：PG I > 70.0 または I/II比 > 3.0 （陽性）：PG I ≤ 70.0 かつ I/II比 ≤ 3.0 （中等度陽性）：PG I ≤ 50.0 かつ I/II比 ≤ 3.0 （強陽性）：PG I ≤ 30.0 かつ I/II比 ≤ 2.0 ng/mL
備考	除菌治療歴がある場合は「コード7481」をご依頼ください。
実施施設	ファルコバイオシステムズ 総合研究所

《解説》

本法で使用するヘリコバクター・ピロリ抗体の検査方法は、認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構より推奨された、デンカ生研株式会社のH.ピロリーラテックス「生研」です。

《コード体系》

検査コード	検査項目名称	報告形態
7480	胃癌リスク層別化検査(ABC分類)	判定 : A群、B群、C群、D群
7481	胃癌リスク層別化検査(ABC分類)/E群	判定 : E群
7348	ヘリコバクター・ピロリ抗体	判定 : (-)、(+)
7349		抗体価 U/mL : 整数
7482	ペプシノゲン(LA)	判定 : (陰性)、(陽性)、(中等度陽性)、(強陽性)
7483	ペプシノゲンI(PGI)	濃度 ng/mL : 小数点第1位
7484	ペプシノゲンII(PGII)	濃度 ng/mL : 小数点第1位
7485	ペプシノゲンI/II(I/II比)	計算値 : 小数点第1位

《判定基準》

		ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	
		(-) 10 U/mL 未満	(+) 10 U/mL 以上
ペプシノゲン検査	(-)	A群	B群
	(+)	D群	C群

● 検査内容変更

《変更日》 令和2年4月1日(水)受付分より

《変更内容》

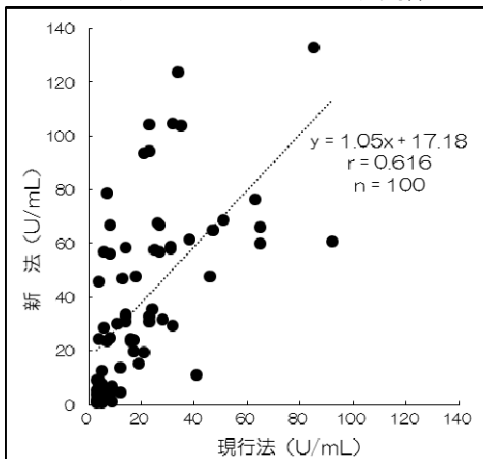
総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.36	2348	ペプシノゲンⅠ・Ⅱ	所要日数	1～3日	3～5日
			検査方法	ラテックス凝集比濁法	ラテックス凝集法
			最小報告値	ペプシノゲンⅠ 2.0未満 ng/mL ペプシノゲンⅡ 1.0未満 ng/mL	ペプシノゲンⅠ ペプシノゲンⅡ 0.5未満 ng/mL
			実施施設	ファルコバイオシステムズ総合研究所	LSIメディエンス
P.66	3937	ヘリコバクター・ピロリ抗体	所要日数	1～3日	3～5日
			検査方法	ラテックス凝集比濁法	ラテックス凝集法
			実施施設	ファルコバイオシステムズ総合研究所	LSIメディエンス

※ ヘリコバクター・ピロリ抗体の測定試薬は、デンカ生研株式会社製のH.ピロリーラテックス「生研」です。
 ※ その他の検査内容に変更はございません。

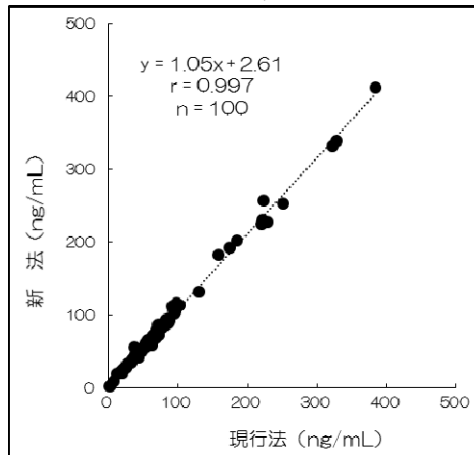
《変更理由》 検査体制見直しのため

《相関図》

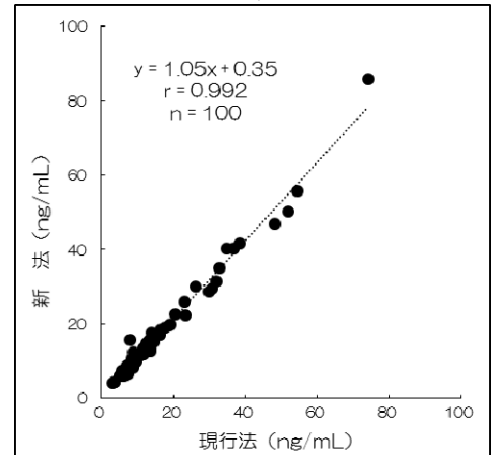
ヘリコバクター・ピロリ抗体



ペプシノゲンⅠ



ペプシノゲンⅡ



		現行法		
		陽性	陰性	合計
新法	陽性	49	12	61
	陰性	1	38	39
	合計	50	50	100

● 受託中止項目

《最終受付日》 令和 2 年 3 月 31 日（火）まで受託

《中止項目》

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	ヘリコバクター・ ピロリ抗体検査	代替項目
P.36	7949	胃がんリスク検診 (ABC 検診)	検査方法： ラテックス凝集法 基準値：10 U/mL 未満	なし
	7354	胃がんリスク層別化検査 (D 分類)	検査方法：EIA 法 基準値：3 U/mL 未満	胃がんリスク層別 化検査(ABC 分類) 【検査コード 7480】
	7355	胃がんリスク層別化検査 /E 群 (D 分類)		胃がんリスク層別 化検査(ABC 分類) 【検査コード 7481】

《中止理由》 委託先 (LSI メディエンス) における中止

胃がんリスク層別化検査報告書サンプル

【表 面】

医療機関		受付日		採取日	
担当医		検体No.		報告日	
患者名		様 性 別		年 齢	
生年月日		カルテNo.			
検査項目	結 果	判 定	総 合 判 定		
ヘリコバクテリア検査		U/mL			
		ng/mL			
		ng/mL			
ペプシノゲン検査					

A B C 分類・判定結果の解説

		ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	
		(-)	(+)
ヘリコバクテリア検査	(-)	<p>おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。</p> <p>逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意しましょう。未感染の可能性が高いですが、一部にはピロリ菌の感染や感染の既往がある方が含まれます。一度は内視鏡検査などの画像検査を受けることが理想的です。</p> 	<p>少し弱った胃粘膜です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意しましょう。</p> <p>胃がんのリスクもあります。内視鏡検査を受けましょう。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。</p> 
	(+)	<p>萎縮が非常に進んだ胃粘膜と考えられます。</p> <p>胃がんなどの病気になるリスクがあります。</p> <p>ピロリ菌感染診断をお勧めします。</p> <p>必ず専門医療機関で内視鏡検査などの診断を受けてご相談ください。</p> 	<p>萎縮の進んだ弱った胃粘膜と考えられます。</p> <p>胃がんになりやすいタイプと考えられます。</p> <p>定期的な内視鏡検査をお勧めします。</p> <p>ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。</p> 

◎ この検査ですべての胃の病気がわかるわけではありません。
 ABC分類2016年度改訂版ではヘリコバクター・ピロリ抗体検査の判定基準が変更されたことにより過去の分類結果とは結果が異なる場合があります。

【裏 面】

胃がんリスク層別化検査は、胃がんの有無ではなく、胃がんに対するリスク検診です。

ヘリコバクター・ピロリ菌感染の有無を調べる「ヘリコバクター・ピロリ抗体検査」と胃粘膜の萎縮を調べる「ペプシノゲン検査」という2つの血液検査を組み合わせ、「胃の健康度」をA、B、C、Dに分類する検査です。

【ヘリコバクター・ピロリ抗体検査】
 胃がピロリ菌に感染していないか調べる検査です。ピロリ菌は胃酸の分泌や胃粘膜の免疫能の働きが不十分な幼少期（4～5 才）頃までに感染すると考えられています。子供の頃に感染しなかった場合、大人になってから感染することは稀だと言われています。

【ペプシノゲン検査】
 ペプシノゲンという物質の血中濃度を測定する事で胃粘膜の健康状態（萎縮・老化）を客観的に調べる検査です。

胃がんの危険度



低 ← A B C D → 高

E ABC分類判定対象外 E群（除菌群）

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、E群（除菌群）として、定期的な内視鏡検査を受けましょう。除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではありませんので、除菌後も内視鏡検査による経過観察が必要です。

【以下のいずれかに当てはまる方は、正しい結果が得られない場合があります】

- 明らかな上部消化器症状のある方
- 上部消化器疾患治療中の方
- プロトンポンプ阻害薬服用中の方
- 胃切除後の方
- 腎不全の方
- ヘリコバクター・ピロリ除菌中または除菌後の方